本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル
電話 03(3343)1846㈹
FAX 03(3348)1890
振替口座 東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年 5,000円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

《品質本位》のうすくち
東 ヒガシマル醤油
＊ヒガシマル醤油株式会社

恒久平和の願い込めて

第三十八回日本母親大会

二万六千人が熱く参加

連帯して緑の地球守ろう

第三十八回日本母親大会は、八月二十二、二十三日の両日行われ、全国からのべ約二万六千人が参加した。第一日は分科会で、一橋大学等都内の八会場で三十九テーマ三十二分科会、五問題別集会、見学会等が開かれた。各会場とも熱気あふれた話しあいが行われたが、俳優の植木等さんの講演した教育、NHKの古屋和雄アナが講演した福祉の会場は超満員の人気だった。

第二日は全体会。千葉・浦安市の東京ベイNKホールで午前、午後の二回に分けて行われ、浅井基文・明治学院大教授が講演した。「自分の子どもや夫を戦争にやりたくない、だけでは〝一国平和主義〟の壁を破れない。その思いを日本人の加害の責任・決意とし〝誤った戦争にはもう加担しない〟と、憲法がめざす「反戦、恒久平和の願いまで高めよう」と呼びかけると、参加者たちは、大きうなずいていた。

恒例の「母親デモ」も、元気よく

多くの分科会から、目黒公会堂で開かれた「こわさないで私たちの地球――開発は誰のもの」の会場をのぞいてみた。

目黒公会堂は、六百名の参加者でいっぱい。「国や大企業の環境破壊をやめさせ、緑の地球を守る草の根母親運動を、世界の人々と手を結んで発展させましょう」と話しあった。

都市部に住む人たちからは、次々と計画される環状道路建設によって、身の回りから一本の木も無くなってしまうのではという不安が訴えられた。また、地方参加者からは、中央資本によるゴルフ、スキー、ホテルの乱開発の現状と、コメの自由化問題に関する発言が多かった。

まず、パネラーの大屋鐘吾さん（国土問題研究会）は「危機に近づく地球環境」面では▽温暖化による海面上昇の水害▽オゾン層の破壊による健康障害▽核利用からくる放射能汚染等、人間そのものを否定する現象が二十一世紀に発生する心配があると話した。

また「国内の国土開発と環境問題」として▽国土利用の再編成により都内から住民が追い出された▽リゾート法の対象地域は国土の二〇%に達している（地方の振興となっていない）▽極端な金融緩和政策の下で、土地や株の投機活動の結果、バブル経済が破綻。「東京圏の巨大化によって、ゴミ処理場も発電所も他県にゆだね始め、地方は容積と景観を中央資本にとられるばかり。開発は誰のもの、誰のためなのかを見きわめ、手の届くことから運動しよう」と話した。

600人の参加者で埋まった開発の分科会

次にブラジルの地球サミットに参加した、高尾山の県央道建設に反対している山田和也さんは「はっきり言って地球サミットはむちゃくちゃだった。NGO＝非政府組織＝の地球環境凡人会議代表の岩崎駿介さんらは政府主導に怒りボイコットしたほどだ。先進国の首脳は何も決められず、北と南の対立点が鮮明になった。しかし、世界中の人々が一堂に集って、このままではいけないと考え出したスタートと思う」と報告した。

会場発言も活発だった

続いて水俣病支援者の桜井弁護士は、ジャパンデーの、政府宣伝〝経済発展を成功させながら公害問題を片づけた〟にはびっくり。が、世界のNGOの人達と交流出来たのが収穫だった」と話した。

会場発言では「首都高速道の渋滞対策とかで、新たな環状道路やトンネルが建設されているが、我が子の学校は以前から公害指定校。自宅の二重ガラスは開けたことがない」と首都圏の参加者。

また、氏子（うじこ）の減少で神社側が古木を切って駐車場にする計画を、マスコミに訴えてそれを残したという明るい話も。

これに対して北海道の鉄道マンの妻だったという女性が伏目がちに「夫は現在上野駅の喫茶で働いている。世の中にこんなにトラックが増えたのは、国鉄貨物が解体したからでは。外国では民営化から国営化へ移行ということも有るので、皆さんの古木を一本守るという切実な問題ではないですが力を貸して下さい」と排ガス増加と国鉄解体との因果関係を話した。

最後に▽大気汚染をこれ以上進ませない環境基準法の早期成立▽地方拠点整備法・リゾート法の改正▽海外への公害輸出禁止▽環境破壊政策の行政と大企業を追及し、平和と緑を守る運動を手の届くところから――等の申し合わせを行って閉会し、その後、目黒区内をデモ行進した。

（上部由美子）

たんぽぽ

もらっていたということにはちっとも驚かないけれど、辞めるといったのはちょっとびっくり。でも、本当に驚いたのは辞めたあとの、まわりのひきとめ工作だった▼〝潔い〟とか賞讃の言葉がうずまき、派閥の会長だけは辞めてくれるなとか、ひきとめ工作の数々。一年も前から疑惑がささやかれていて、シラを切っていた人が、どうにも抜きさしならぬところに来て辞めるといったのが、なんで潔いのかさっぱりわからない。それにあの金丸さん、何を言っているのか、思っているのか、私たち普通の市民にはさっぱりわからなくて、よく聞きとれないのだが、なんぼ耳をすませても、自民党に申しわけない、といっているが、国民へのおわびの言葉はないようで▼さらにびっくりしたのは、小沢一郎氏の言葉。辞任の弁を聞き〝心から感動した〟と涙までぬぐって見せた。ハテ、〈感動〉ってこんなときに使う言葉だったのかしらん▼政治には金が要って、だからたくさん金を集める能力のある人が大物で――という常識がまかり通っている以上、庶民の正義感をもち出しても、しょせん頭の中の構造がちがっているのだからダメだ。戦後、何度こうした汚職があり、問題にされ、そして何事もなかったかのようにウヤムヤになったか▼巨額の金が動く、ということは企業がからんでいるからで、企業が出すということは、何か利益がなければ出す筈がない――ということは、政治改革は、企業献金を禁止するしかない、ということになる。自明の理、と思うのだが▼それにしても五億円ってどんな金だろう。一万円札で積んでどのくらい場所をとるの？といいあった。金に縁がないわが社。誰一人答えられなかった。

海外通信

ローマ＝㉓　太田緑

みどりのローマ生活体験記

熟れたトマトの調理

イタリアならではの味覚

イタリアの国旗は左から緑・白・赤。緑は自由、白は平等、赤は友愛を表すと物の本に書いてありました。喰いしん坊は、その色を見て、水牛のミルクから作られる白いモツァレラ・チーズと真っ赤に熟れたトマトの薄切りに新鮮なバジリコの葉っぱが添えられた一皿を思い起こして、思わずつばを飲み込みます。質のよいオリーブ・オイルをかけただけの単純な料理なのに、一口食べれば「トマトの国、かくやあらん」と目を輝かすのです。

イタリアのトマトは本当においしい。瑞々しくて、こくのあるうま味がします。自然な甘味がたまらない。生のトマトだけでなく、ポモドーロ・セッキと呼ばれる天日に干したトマトも忘れられない南イタリアの味覚です。これはオリーブ・オイルに付け込み、アンティ・パストとして食べるのが一般的です。トマトのうま味が凝縮された、といったら味の想像がつくでしょうか。冬場に市場で見かける枝についたままの小さなトマトも、捨てがたいものがあります。ほおずきのように可愛くて、とても甘くておいしいのですよ。

ローマの市場では、殆どの品物はキロ単位で値段が表示してあります。おいしそうなものを適当に取ってお店の人に渡すとさっと暗算で計算してくれて…。スーパーでの買物では得られない店の人とのちょっとした触れ合いがうれしくて、土曜日には近くの市場に出かけます（値段が相手によって多少変わるのは御愛嬌）。旬のトマトは一キロ六十円くらいでしょうか（農家に直接行くともっと安いと思う）。自家製のトマト・ソースの保存用にガラスの瓶も積み上げられています。夏の太陽をいっぱい吸収したトマトをグツグツと煮込んで、一年分のトマト・ソースを用意するのは、日本の主婦が梅干しを漬け込むのにも似た年中行事なのでしょう。

八月中旬に、ローマに住んでいる日本人のグループが、収獲まっ盛りのトマト畑とフル稼働中のトマト缶詰の工場の見学に出掛けました。ローマの南約二五〇キロ、ナポリ近郊にあるホール・トマトの缶詰工場です。日本の食品会社（かなめ）のローマ駐在所長が、シーズン中の多忙のなか、時間を割いて我々を案内してくださいました。このあたりで栽培されているのは、細長い形をした品種で、ホール・トマト用だそうです。トマト・ペーストにするのは別品種で、北イタリア・パルマの近郊で栽培されており、ペースト用の工場もそちらにあるそうです。日本の消費者のニーズに合う高度な品質管理のためには、シーズン中は特に目を離せないとかで、この所長さんはイタリアの南北を行ったり来たりする毎日だと話しておられました。

真っ赤に熟れたトマトは収獲後、加工工場の大きな水槽で水洗され、サイズの合わないものや異物が女子作業員の手で取り除かれます。熱湯もしくは蒸気が表皮に当てられると一本の亀裂が入り、皮がむきやすくなります。ローラーの上を通るうちに亀裂が左右に押し開かれ、つぎつぎと皮のむかれたトマトがコンベアの上に出てきます。

一列に十二人ずつの女子作業員が、左右から皮がむきされていないトマトや形の崩れたものを取り除いてゆきます。機械が規定の重量を自動的に計量し、トマトジュースを充填して蓋をして行きます。あとは、熱処理をして殺菌をすれば出来上がり。何の添加物もないトマトの素材缶。単純なだけに、原料のトマトの新鮮さが味の決め手とか。南イタリアの料理には、オリーブ・オイルと共に欠かせない調味料です。

トマトの缶詰の工場は、このあたりしかないので、最近ではもっと南のプーリアでとれるトマトもここに運ばれてきます。このため、南イタリアとこの辺りを結ぶ高速道路はトマトを満載した大型トラックがいっぱい走り、トマト道路と呼ばれるのだそうです。

働く女性に朗報！

日ソ図書訴訟完全勝利

運用上の男女賃金格差も違法

仕事の質や量、年齢などが同等であるにもかかわらず、女性と男性の賃金に格差があるのは違法だとして、退職金を含め賃金の差額を請求していた裁判で、東京地裁（太田豊裁判長）は八月二十七日、原告側の主張をほぼ全面的に認め、被告である会社側にその差額、約四百六十七万円を支払うように命じる判決を下した。

この裁判は、日産家族手当差別裁判に見るような、これまでの制度的な男女の賃金差別を越え、運用上の男女の賃金格差が違法であるとした画期的な判決。男女の「同一労働、同一賃金」の実現がむずかしい現状での働く女性たちにとって、一条の光を投げかける〝朗報〟と言える。

訴えていたのは、書籍の輸入販売会社「日ソ図書株式会社」に勤めていた野村美登さん（六四）。定年間際に、同僚の男性と賃金格差があることを知り、八八年に提訴。裁判を闘ってきた。

野村さんは一九六五年同社に入社。翌六六年に正社員となり、七二年ごろには、同社の販売店・神田店の事実上の責任者をつとめた。この仕事に加え、ロシア語のソ連図書の発注業務（販売図書の選定）も担当し、仕事をこなしてきた。ところが、年齢、学歴、入社時期など野村さんとほぼ同じ条件の男性たちと比べ、基本給の差が約三万～六万円低いことを知った。定年直前だった。

判決の日、東京地裁には野村さんの裁判を支えてきた有志が作る〝とほその会〟のメンバーらが、傍聴席を埋めた。法廷に現われた野村さんは、「暑い中を、わざわざありがとうございます」と一人一人に頭を下げながら、白い小さな花束を手渡した。定刻になっても、被告側の席には、代理人すら現われなかった。

『主文。被告は原告に対し、金四六六万一一九一円及びこれに対する昭和六三年七月二二日から支払ずみまで年五分の割合による金員を支払え。原告のその余の請求を棄却する。訴訟費用はこれを五分し、その二を原告の負担とし……』。

傍聴席でかたずをのんで判決に耳を澄ましていたメンバーらに、とまどいの表情が浮かんだ。勝ったのか、敗けたのか…。裁判官の退廷後、代理人の弁護士・中島通子さんと中下裕子さんの「勝ったのよ。ほぼ全面勝訴」の声に、「やった。よかった…」。

判決後、野村さんは「運動家でもない私が勝訴できたのは、みなさんのおかげです。本当にありがとうございました」と深々と頭を下げた。

この判決が画期的であるというのは、初任給で格差があっても、その後の仕事や責任において、女性が男性と同等かそれ以上になった場合、格差を是正する義務があることを認めたということ。

判決後の記者会見で、代理人の中島通子さんは「現実では、大部分が運用上の男女格差がされている。これについて是正義務があるとこの判決は言っている。非常に影響力のある内容」と話した。これまで法律上は男女平等だが、現実では運用上男女差別があり、これは違法とされていなかったが、この裁判ではそれが立証される判決を得た。

喜びいっぱいの野村さん（右）に花束が贈られた

記者会見する左から中島弁護士、野村さん、中下弁護士

農文協
〒107 東京都港区赤坂7-6-1
☎03(3585)1141　各税込定価
●内容見本呈「全婦」係へ

●爽やかで、味のある新刊！

絵とき 土と遊ぼう
●からだで感じる 地球のいのち
松尾嘉郎・奥薗壽子著　かわいいイラスト満載のドロ遊び62集。五感をいっぱい使って、さあ！ドロ遊び！生活科にも良いよ！＊1300円

学習塾のまじめな話
●「できる子」よりも「わかる子」に
小宮山博仁著　有名塾か？小さな塾か？行かせる？行かせない？……迷いに答える塾の全て＊1600円

たまには 歯みがき忘れても
中村輝夫著　多少甘い物を食べても、飲んで歯磨き忘れても大丈夫！ちょっとしたコツで虫歯や歯槽膿漏と縁が切れる法解説＊1250円

来し方 ゆく末 和風たべもの事典
小野重和著　食物素材や料理の渡来、栽培の起源、普及の歴史などから、楽しい逸話やゆく末も盛り込んだ読みもの&事典。＊2200円

もっと自由にお魚料理
池上保子著　いつもとちがう煮魚やフライ…。マリネひとつ作れば味わい方は10以上も。なじみの魚34種の手軽な食べ方。＊1350円

聞き書 神奈川の食事
和・洋・中―なんでもこい神奈川
浜っ子のハイカラ料理と相模野の恵み
●日本の食生活全集シリーズ　第46回配本！
みなと横浜のハイカラ料理、古都鎌倉の精進料理、三浦半島・相模湾の新鮮魚貝料理…。大正末期から昭和初期の洋風化される以前の日常食を、おばあさんから聞き書で再現！
☆毎日の朝昼晩の献立から行事食も。☆材料、作り方も写真を添えて。☆冠婚葬祭、行事他。

★あと平年で完結です！―●シリーズ全50巻！
隔月刊予定　29奈良　48アイヌ　49・50索引
最新刊発売中
●既刊・好評発売中　＊定価各2900円●A5判★カラー写真豊富
1北海道 2青森 3岩手 4宮城 5秋田 6山形 7福島 8茨城 9栃木 10群馬 11埼玉 12千葉 13東京 14富山 15新潟 16石川 17福井 18山梨 19長野 20岐阜 21静岡 22愛知 23三重 24滋賀 25京都 26大阪 27兵庫 28奈良 29和歌山 30鳥取 31島根 32岡山 33広島 34山口 35徳島 36香川 37愛媛 38高知 39福岡 40佐賀 41長崎 42熊本 43大分 44宮崎 45鹿児島 46沖縄 47
■9月29奈良刊行予定

▲けんちん汁の〝元祖〟建長汁（鎌倉）

"人間と性"を考える話題の総合情報誌
Human Sexuality
［ヒューマン・セクシュアリティ］
◉編集長◉村瀬幸浩◉
◉企画編集◉"人間と性"教育研究協議会
◉季刊／B5判・128頁◉定価1400円（税込）
8号〈新刊〉《特集》性情報・性文化の現況と「表現の自由」と
［編集長対談］ゲスト奥平康弘（国際基督教大学教授・憲法学）
［特集論文］性情報と性行動の心理……福島章
子どもの知る権利と性文化……増山均
●特集インタビュー　レディース・コミックにみる性表現…衿野未矢氏に聞く／スウェーデンにおける性表現…デューク雪子氏に聞く
●特集レポート　広告ウォッチング――意識にしのびこむ性差別…岡久美子（フリーライター）
●特集ルポ　「有害コミック」規制問題をめぐって
三井富美代＋草野いづみ（フリーライター）
●高校生の座談会（ポルノ・コミックをめぐって）　他
★その他　連載④　実践　海外レポート等誌面充実
7号　新教科書がもたらすもの――学校・家庭の性教育の新段階
6号　シルバーエイジの豊かな性と生
5号　ピル解禁を控え、いま避妊を問い直す
東山書房　●定期購読・チラシのお申込みは下記へ
〒104 東京都中央区新川2-2-1-708　☎03(3553)8358
〒615 京都市右京区山之内大町5-3　☎075(841)9278

復帰20年。現在を照射し、
底流する歴史と文化を改めて見つめ直す。
沖縄1992
毎日グラフ別冊／発売中／定価2000円（税込）（送料310円）
主な内容
首里城への招待
琉球弧詩景／沖縄歴史紀行
●
■赤犬子の末裔たち■ヤマトへの熱い眼差しと嫌悪感■ウチナーグチは素晴しい■沖縄40年前■沖縄詳細地図
毎日新聞社
〒100-51 東京都千代田区一ツ橋1-1　振替東京4-56534

有斐閣（ゆうひかく）
法女性学のすすめ　第3版
●女性からの法律への問いかけ
金城清子著
男女平等はどこまで実現できたのか。性による分業論の克服の視点から、家族・労働・教育・社会保障などの領域ごとに法制度を総点検し、望ましい法の姿を追求しています。
（有斐閣選書）定価一六四八円
女性のデータブック　井上輝子・江原由美子編　A5判　定価二九八七円
女性学への招待　井上輝子著　（有斐閣選書）定価一五四五円
性の法律学　角田由紀子著　（有斐閣選書）定価一五四五円
結婚・離婚・女の居場所　目黒依子著　定価一四四二円
〒101東京都千代田区神田神保町2
☎03(3265)6811（定価は税込です）

センター創設委員、左からパクアニューギニア、日本、オーストラリア、フィリピン、韓国の代表部等（マニラのペニンシュラ・ホテル）

アジア太平洋女性政治センター誕生

政治の舞台に女性を！初の国際組織

豪・蘭両政府の資金援助で

三井マリ子

「アジア太平洋女性政治センター」が誕生を祝った。政治の舞台に女性を送り、すべての政府、非政府、国際機関の政策に女性の視点を入れるための世界初、非営利、非党派組織である。誕生に至る経過として、その歴史、目的、活動概要を日本のみなさんに報告したい。

ことの発端は1985年のナイロビでの「国連女性関連会議」。二年間の準備を経て、この時に初めて「アジア太平洋女性政治センター」が提案された。

「アジア太平洋女性政治センター」が誕生するまでの経過をアジア太平洋地域でたどってみよう。

「日本政府は、こういう提案をされると、絶対に賛成しない。なぜなら、日本は、①女性の政治指導者の問題、②女性の政策決定過程の問題、③女性の政策推進の政府内における女性の声を反映する問題、――の三つの問題を抱えている。

「例えば、女性の参画が、ODAの対象国の政策に反映されるか？　ODAの対象国の政策に、女性の問題が反映されるか？　ODAの対象国の政策に、女性の問題が反映されるか？　ODAの対象国の政策に、女性の問題が

新たなふれあいの旅

ベロ亭北海道キャラバン

風の語りべ レポート①

福井県武生市で、女性三人子供一人が共同生活する「ベロ亭」。ことし六月末から七月末にかけて〈キャラバン〉をおこない、二十二カ所を巡った。〈やきもの師〉岩国英子さんの作品展示即売を中心に〈風の語りべ〉米谷恵子さんの自作詩の朗読などのイベントも開催。〈水のお絵描き人〉景平洋子さん、米谷さんの息子・空（カラ）君も参加した。十一年前から始めているキャラバンは、行く先々で人びとに助けられ新たなふれあいを生む。北海道キャラバンのレポートが米谷恵子さんから寄せられた。

陶芸と詩と絵で交流

全22ヵ所へ、好調なスタート

道南から日高へ　米谷　恵子

傍らのアイヌ女性堀悦子さん（浦河在住）のくちもとから広がる、力強いムックリの響きに重ね、私は『雨の夜、女たちの紡ぎ唄を聴いた』を朗読する。この詩は、昨年三月に地元福井で持たれた、南米の楽器チャランゴと私の詩の朗読のジョイントを聴いた福井在住の女性が、その日の感動を伝えた作品だ。七月二日は浦河の夜。日高の馬の牧場のただ中の会場のゲル（モンゴルの移動式住居）でのこと。集まった二十人余りの人々も真剣に聴き耳を立てる。

上天気に恵まれ

六月二十日から始まった『ベロ亭やきもの&詩&絵キャラバン北海道篇』も、すでに九ケ所目。キャラバン十一年目にして三十九回目、全二十二ケ所を巡る史上最長のキャラバンのほぼ半ばまで来ていた。

フェリーで小樽に上陸して以来、真夏のような上天気に恵まれ、キャラバンは売りから女手一つでたたき上げ、今では立派な店を数人のスタッフとともに取り仕切る主の橋早知子さんが感激の余り涙ぐむ一幕も。

札幌二ケ所目の谷百合子さん宅では、やきものの客はまばらながら、夕刻の一時、彼女のピアノと合わせて何人かの女たちと環境問題を女たちの意識の底まで問う朗読劇をする。また、小樽はもとより札幌から駆け付ける人もいる。

初めての道南はまず、キャラバンを企画段階からしっかり受け入れてくれた函館はYWCAだ。すとんと広い一部屋に思い切り展示し、新聞を見て期待を寄せて次から次へと来る主婦層に、同行した十四歳の息子のカラも頑張って応対、売り子の仕事も覚え始める。

室蘭グリンピースで、新鮮な有機野菜の隣に、ベロ亭のやきものが並ぶ。左、富盛さん、右、岩国さん

左手で描いた絵

海沿いの閑散とした風景に蟹の看板ばかりが目立つ長万部は駅前の喫茶『カオ&マミ』では、主の澤薫さんも独特の個性を持つ人だが、隣の食堂をやっている叔母さんも、長身でおしゃれなお父さんも不思議な雰囲気を持つ一族だった。若い頃、病身だったという叔母さんが、景平さんの絵『うみの唄』に見入る姿が印象的だ。景平さんは病気上がりの体調を考え、道南はキャラバンをパスする代わりに、一番病気がひどかった頃、腰の出る右手が使えず左手で描いたこの作品を張るように私達に指示していた。

大滝村は水谷ロッジでは、朗読とスライドのささやかな会を持つ。世話人である旧知の友と再会を果たす。

室蘭は自然食品店『ぐりんぴーす』も、女主人富盛保枝さんが取り仕切る新装して間もない実に綺麗な店だ。彼女の静かで着実な物腰にほだされ、夜の交流の席の朗読にもつい力が入る。

急きょ寄った富川では、『みわ文庫』に寄りがてら何人も見てくれて、限定して出したやきものが短時間のうちにほぼなくなる。

女の目で視る —㉛

「フライド・グリーン・トマト」　アメリカ映画

この映画を、ともかく見ようと思ったのは、朝日新聞の記事（'92・7・4）の女の友情の取り上げ方が、あまりに時代錯誤に感じられたからである。新聞記事の大見出しは〈「成立しない」「受けない」と言うけれど、どっこいあった女の友情〉というもので、前文に〈女性同士の友情を描いた作品が同時期に、映画とテレビの両方でヒットしている。女性の間に友情は成り立たない、女性の友情ものは視聴者や観客に受けない、といった先入観を破った形だ。なぜ、今、「女の友情」なのだろうか—〉とあり、フジテレビ「素顔のままで」と、映画「フライド・グリーン・トマト」をあげていた。

この映画は、一九八七年、女優でもあるファニー・フラッグの二作目の小説が原作（ピューリッツア賞受賞）で、今も全米でベストセラーになっている。

物語は、仕事から帰るや夕食も共にせずテレビにかじりつく夫に、何とか関係を変えようとしている妻エブリンが、老人病院で出会った女性ニニーの昔語りに触発され、語りの中の女性たちのように、自立した人間としてニニーと友達になっていく、というのがあらすじだ。語りの中に話が入り込んでおり、ラストには物語の謎が自然にほどけ、想像を広げて楽しめる。

原作の映画化権を原稿段階で買い取ったというジョン・アグネット監督は「女たちの関係は、夫や男友達の関係より強いものがあるのではないか」と以前から思っていたという人だ。

女の友情を特別なものとしてみるのではなく、日常の中で、ごく自然に身について、制度を自分に合わせて変えようという時代。精神的に自立して充実していれば、フェアな友情を成立できる。若い女性たちは、そういうことが自然に身についている」山下悦子（同記事から）。（鈴木陽子）

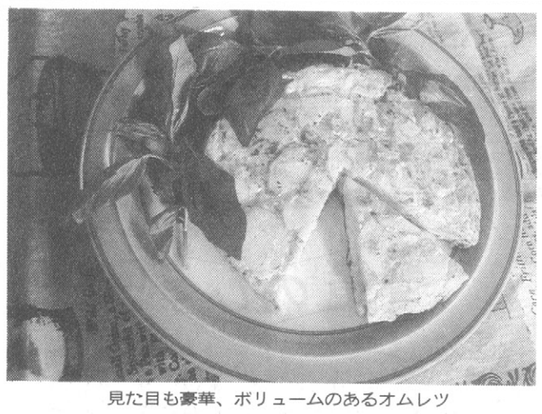
エンジョイスパイス

誰でもできる世界の料理

▶82◀

今年はバルセロナオリンピックの開催と共に、日本に多くのスペイン料理が入ってきました。スペイン料理といえば米を使った「パエリア」や卵料理の「オムレツ」が良く知られています。そこで今回は、じゃが芋や玉ねぎを加えて、固めに焼いた卵料理「スパニッシュオムレツ」を紹介します。

使用スパイスはホワイトペパーに、バジル（ホウル）とパセリを加えています。



見た目も豪華、ボリュームのあるオムレツ

大きくかき混ぜるのがコツ…

スペインの卵料理

「スパニッシュオムレツ」

〈スパニッシュオムレツ〉

［材料］（8人分）

卵…8個、じゃが芋…小2個、玉ねぎ…中½個、バター…大さじ1、サラダ油…大さじ1、バジル（ホウル）…小さじ1、パセリ…小さじ1、ホワイトペパー…小さじ⅙、オリーブ…8粒

［下ごしらえ］

①じゃが芋は皮をむき、薄いいちょう切りにして水にさらす。

②玉ねぎは薄切りにしておく。

［作り方］

(1)フライパンに半量のサラダ油とバターを熱し、玉ねぎとじゃが芋を炒めて火が通ったら、取り出しておく。

(2)卵を割りほぐし、バジル、パセリ、ホワイトペパー、塩を加えて調味し、冷めた(1)の野菜を加えて混ぜる。

(3)(1)のフライパンに、残りのサラダ油とバターを熱し、(2)の卵を流し入れる。ブツブツしてきたら大きくかき混ぜ、半熟状態に固まってきたらフタを使って裏返し、両面を焼く。

(4)大皿に盛って、オリーブを添える。

（ワンポイントアドバイス）

バジルと似た香り成分を持つオレガノやマジョラムをさらに加えますと、香りの幅が広がり、嗜好性も高くなります。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／料理指導・長瀬峰子）

出かけてみませんか

9月

▼石田武展

9日(水)～21日(月)　西武アート・フォーラム（西武百貨店池袋店6F）　山種美術館賞展（'79）の大賞受賞作品をはじめ、自選の14点、大作「原生」「望岳」「鳴門海峡」など新作11点　一般400（300）円、学生300（200）円　（）内前売料金

▼クジラと南極の仲間たち展

11日(金)～17日(木)10時～21時　新宿マイシティ2番館Eギャラリー連絡…グリンピース・ジャパン☎03・5684・0559

▼「ヘンリー・ムーア」—自作と収集品にみる創造の原風景—

15日(火)～11月3日(火)※木曜休館（祝日は除く）10時～20時　セゾン美術館（東京・池袋☎03・5992・0155）　600点余の作品と、ムーアの収集品360点を日本初公開　一般1000円、大・高生700（600）円、中学生以下無料（）内前売・団体料金

▼「帰らぬ少女」上映会

☆日本へ出稼ぎに来たタイの少女を描いた日・タイ合作のスライド作品

25日(金)19時　ポレポレ座（東中野・青林堂書店2F）　ドリンク付1500円　制作…火種工房☎03・3425・6096

江の島女性映画奨励賞 第2回目の対象者募集

神奈川県立かながわ女性センター

神奈川県立かながわ女性センターでは、女性の少ない映画の分野で、今後の活躍が期待される女性監督、製作者を奨励するために「江の島女性映画奨励賞」を設け、第二回の対象者を募集している。

応募（推薦）条件は①日本国内を生活、活動の拠点とする女性の映画監督、映画製作者で、②監督、製作した映画が、不特定多数の人を対象として、二年以内に上映されていること。この場合の映画とは映画フィルム（35、16、8ミリなど）に撮影されたもので、ビデオは除く。

応募者は「応募用紙」に必要事項を記入して〒251藤沢市江の島1—11—1　神奈川県立かながわ女性センター生涯学習部（9／16締切）。

受賞者には賞状と賞金五十万円が贈られる。第一回受賞者は「戦場の女たち」監督の関口典子さん。

問い合わせ…☎0466・27・2111内線562。

クウェートの巻⑥

日本の青年が養殖を指導

クウェートには魚の養殖場があった。そこに日本の青年が派遣されていて、クウェート人の好きなハムールを世界ではじめて養殖していた。ハムールはハタ科の魚で、成長すると、一メートルくらいになる。

養殖場では、天然のハムールの親魚を、プールの半分くらいの水槽でたくさん飼っていた。彼がボラに化学飼料をからめたものを水槽に投げ込むと、いっせいに集まってきてパクパクと食べた。

養殖したハムールは、一年目から四年目（成魚）まで、それぞれ水槽がわかれていた。一年目のハムールは重さが二百五十グラムくらいで、まだ小魚だけれど、三年目になると、体長五十センチくらいになる。このころが最も味がいいので、需要が多い。ところが、天然ではなぜかあまりとれないから、その大きさまで育てて市場に出している。

魚は体調が悪いと水槽の底にひそみ、エラに回虫がわくと、横腹を水槽にこするようにして泳ぐそうだ。水槽のハムールぜんぶに回虫がわき、一千匹くらい死んだこともあったらしい。

別の水槽では、水面に浮いてきた卵を管で吸いとって袋にうけていた。その袋にたまった卵を孵化場へ持っていく。孵化するのに日本では四、五日かかるが、暑いクウェートでは一日で孵化する。

彼はソベイティという魚の養殖も指導していた。ソベイティはタイ科の魚で、日本にはないが、クウェート在住の日本人は青ダイと呼んでいた。最大九十センチくらいになる。ほかにタイとピラニアの合いの子という淡水魚も養殖していた。黒いコイのような魚だった。これはエジプト人が好んで食べるので、彼らのために育てていた。エジプト人はクウェートの総人口の十分の一を占めていて、二十万人近く住んでいたからだ。

クウェート人はマナガツオも好きなので、彼は、その養殖の技術指導も依頼されているということだった。

（前川雅子）

クエ（ハタ科）

お魚豆知識

タウリンで成人病の予防

エビやイカ、タコ、カキなどにはうま味成分が含まれています。その一つがタウリンです。タウリンは血中のコレステロール値を下げ、脳の交感神経に抑制的に働き、血圧降下や精神の鎮静化、脳卒中の予防に役立ちます。心臓の筋肉の収縮の増減に関係し、不整脈や心不全に有効に働くとされています。

㈳大日本水産会・おさかな普及協議会

SASO

女を、微妙にする香り

香妃と呼ばれた、美しい王妃の物語。その香妃伝説
からよみがえった沙棗花の香り、SASO。
心を微妙にゆらす、神秘的な香りの力。

パルファム……20mℓ 11,900円　8mℓ 5,900円

SHISEIDO

表示価格は税抜希望小売価格です

地震には地震保険。

●8月30日から9月5日までは防災週間です。

■地震への備えには、地震保険

地震保険では、地震・噴火やこれらによる津波を原因とする火災、損壊、埋没、流失によって、建物については一部損以上となったとき、家財については全損となるか、家財を収容する建物が一部損以上となったとき、保険金をお支払いします。

■住まいの火災保険といっしょにご契約を

地震保険は、住まいの火災保険とあわせてご契約いただくことになっています。地震保険の対象になるのは、居住用の建物と家財。契約金額は、住まいの火災保険の契約金額の30%～50%の範囲内でお決めいただきます（ただし、建物は1,000万円、家財は500万円が限度です。）。

火災保険では、地震による火事などの損害は補償されません。

※なお、住まいの火災保険では、地震等により建物が半焼以上になった場合に、火災保険の契約金額の5%（300万円限度）を臨時に生じる費用をまかなうものとしてお支払いします。

社団法人 日本損害保険協会
〒101 東京都千代田区神田淡路町2-9 電話03(3255)1211(大代表)